参加無料
対面
オンライン
同時開催

関西学院東京丸の内キャンパス

タウンミーティング

日本の人口が減少し続けています。人口が減ると、国全体のGDPも縮小します。ちなみに、現在の日本の一人当たりのGDPは、世界第33位（2025年）だそうです。この人口減少スパイラルが続く限り、私たちの孫や子供たちの時代には、日本は相対的にもっと“貧しく”なって仕舞います。

今後、地方の過疎化はますます進み、交通網や物資配送網も持続可能ではなくなり、水道や電気、下水道などのインフラ維持も益々難しくなります。社会保障制度の持続可能性も薄れ、全国には破棄された山林や土地も、今以上に増えて来るでしょう。更に、早い話、現在の選挙制度そのものも、人口減⇒選挙区調整による議員数の削減の必要性など等、大幅な修正が必要になるはずです。税金の在り方もしかりです。

今期のタウンミーティングで、このテーマ“人口減少社会、社会の在り方、コスト分担の在り方、更には、社会機能を賢く縮ませるには、どうすれば良いのかなど等”を取り上げ、「識者や政治家の方々と語り合う」試みを企画しました。皆様のこぞってのご参加（出来るだけ2回を通じての）を期待しております。

開催企画監修/：鷲尾友春　関西学院大学フェロー（元国際学部教授）



増田 寛也 11/6

株式会社野村総合研究所　顧問
（前日本郵政社長、令和国民会議（令和臨調）共同代表）



林 芳正 11/13

前総務大臣　衆議院議員



■司会・モデレーター

関西学院大学フェロー

鷲尾友春

関西学院大学商学部卒。1970年ジェトロ入会。ニューヨークとシカゴに駐在し、北米担当事業主幹や映像チーム総合プロデューサーなどを歴任。シカゴセンター所長、海外調査部長、理事（アジア、オセアニア担当）、特別顧問（調査部付）を経て、2010年関西学院大学国際学部教授。2016年退官。

■ 日　　時

2026年11月6日(金)
11月13日(金)
18:30～20:30(120分)

■ 参 加 費

無料（要申込）

■ 会場

関西学院大学東京丸の内キャンパス
Zoomオンライン

■ 申込締切（対面参加）

11/6開催：2026年11月4日(水)まで
11/13開催：2026年11月11日(水)まで

■ お申込み

関西学院東京丸の内キャンパスホームページから申込。詳細をご確認ください。

関西学院大学東京丸の内キャンパス
（担当：木村）
TEL　03-5222-5678（平日10:00～18:00）
Email　open-seminar-tk@kwansei.ac.jp